

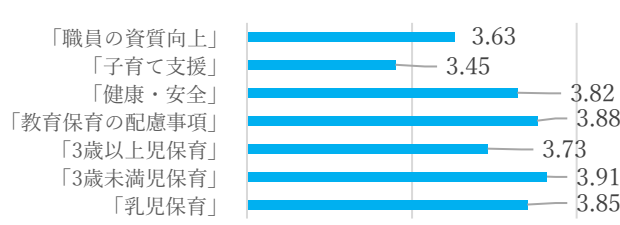
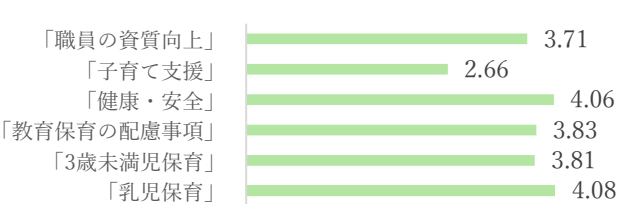
# 令和5年度 幼保連携型認定こども園 教育・保育要領に基づく自己評価結果

作成日	令和6年3月29日
法人名	学校法人 永原学園
園名	西九州大学附属三光保育園・分園 PINO

## ま と め

**全体平均 3.75(本園) 3.16(分園)**

第2章 第1節 乳児期の保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人一人と向き合い、表情や喃語などに対し応答的な関わりをすることで、安心・安全の環境の中で気持ちよく過ごすことができるよう配慮した。</li> <li>遊びの中で子どもの発達を捉え、子どもたちの興味関心がわくようなおもちゃや絵本を準備した。</li> </ul>
第2章 第3節 満1歳以上満3歳児未 満の園児の保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが面白い、やりたいと思うような遊びのきっかけ作りができるよう環境を整えた。</li> <li>自我の芽生え「自分でやりたい」気持ちを尊重し、援助をするタイミングや方法を工夫した。</li> <li>生活習慣が身に着くように、子どもたち一人一人の発達に応じて丁寧に取り組んだ。</li> </ul>
第2章 第4節 満3歳児以上の 園児の教育及び保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの中で協調性や想像力など様々な発達が著しく育つ時期なので、友達との関わり方や自己表現の仕方など、遊びの中で学べるような声掛けをしていくようにした。</li> <li>製作を通して行事(生活発表会)への期待感を持ち、表現することを楽しめるような活動の工夫をした。</li> <li>遊びが子どもの知的好奇心を刺激し、子どもたち自身で調べたり、興味関心を深められるような関わりを心がけた。</li> </ul>
第2章 第5節 教育及び保育の実践に 関わる配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人一人の発達を考えて、環境整備をした。(季節、興味関心に応じておもちゃ、絵本を選択した)</li> <li>本園と分園、幼稚園と情報を共有しながら感染症予防の対策をした。</li> <li>子ども一人一人の心に寄り添い、スキンシップを大事にしながら、安心できるよう心掛けた。</li> </ul>
第3章 健康及び安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが安全な環境で安心して過ごせるように、毎月安全チェックをして予防している。</li> <li>熱中症予防のために、看護師と一緒に熱中症運動予防指数を確認してこまめな水分補給をしながら戸外遊びをした。</li> <li>言葉で伝えることが難しい乳幼児は、園での生活の中で子どもたちの顔色や、体熱感を十分注意し、いち早く子どもたちの体調不良に気付けるよう、全職員で心がけ保育に取り組んでいる。</li> <li>食物アレルギーをもつ子どもの給食・おやつについては、必ず職員2名以上で声出し確認をするように努めている。</li> </ul>
第4章 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者からのれんらくアプリを見て、家庭に寄り添って返答するよう心掛けた。また、れんらくアプリへの記載だけでなく、子どもの送迎時など直接伝えられるよう配慮した。</li> <li>日頃の子どもたちの様子を言葉だけでなく、写真を載せて具体的に伝わるようにした。</li> <li>保護者の方と一緒に子どもたちの育ちを支える気持ちで保育に努めている。</li> </ul>
第5章 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>園外研修で得たことを園に帰って伝達し、職員同士で話しながら日頃の保育に取り入れた。</li> <li>職員同士で日頃の保育を振り返り、改善策を検討しながら保育に努めた。(PDCAの徹底を心がける)</li> <li>園内研修では子どもたちの安全管理として、水遊び、救急時の対応(AEDを含む)、食事時の窒息など場面を想定して実践研修を行い、緊急時に対応できるようにしている。</li> <li>本園と分園の保育の互いの良さを「公開保育」の研修を通して学びあうことができた。</li> </ul>
総合	<p>本園及び分園には全てに職員の援助・支援が求められる0～2歳児が多数在籍する。アンケート結果からは、経験年数に拘わらず、真摯に自分の保育を振り返り保育の質の向上に取り組もうとする職員の姿が伺えた。両園共に直面した課題に対し、研修や研究を通して改善に取り組んでいる様子が伺えた。また、園児が安全に、安心して過ごせたことは保護者様のアンケートのコメントから知ることができた。今年度の各人の反省をいかして一人一人が来年度の目標を決め、全ての子どもたちの最善の利益の保障に貢献できるよう今後も努めていきたい。</p>

データ表(本園)			データグラフ(本園)	
内容	項目数	平均		
「乳児保育」	15	3.85		
「満1歳以上満3歳未満児保育」	32	3.91		
「満3歳児以上児保育」	53	3.73		
「教育保育の配慮事項」	16	3.88		
「健康・安全」	29	3.82		
「子育て支援」	14	3.45		
「職員の資質向上」	6	3.63		
計	165	3.75		
データ表(分園)			データグラフ(分園)	
内容	項目数	平均		
「乳児保育」	15	4.08		
「満1歳以上満3歳未満児保育」	32	3.81		
「教育保育の配慮事項」	16	3.83		
「健康・安全」	29	4.06		
「子育て支援」	14	2.66		
職員の資質向上	6	3.71		
計	112	3.16		

